

ベストセラー

基本と実践で広い読者層取り込む

3000部程で売れ行きがピタリと止まる、といわれている不動産本にあって発売からわずか2カ月で初版1万部を売った本がある。

本紙でもおなじみの武蔵コーポレーション(埼玉県さいたま市)の大谷義武社長が書いた「アパート事業」による資産形成入門だ。

同著は年収1000万円以上の高所得者を対象に、アパート経営のノウハウを理論編と実践編の2部に分けて記した本だ。入門と銘打っているだけあって、理論編ではア

パート事業の基本的な概念が丁寧にやさしい言葉でつづられている。実践編では、物件選定編から物件運用編など、

すぐに使えるノウハウが満載。特に金融機関マニアを自称する著者だけあって、資金調達編の内容は非常にリアルだ。読者からは「銀行の収益構造や融資状況など、

ここまで詳細に書かれた本は無かったのではないだろうか」といった声

「アパート事業」による 資産形成入門

年収1000万円を目指す

わずかな
自己資金で
大きな投資

アパート事業による資産形成入門

大谷義武著

重版も予定されているが、著者は早くも2作目に取り掛かっているという。取り上げるテーマは何なのか。早くも楽しみだ。(幻冬舎メディアコンサルティング・1429円十税)